

「認証」とは？

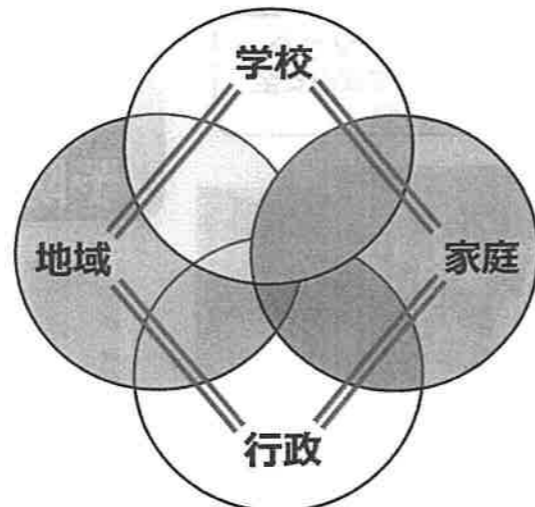
8つの指標と3つのポイントに基づいた安全向上の取組

ISS活動推進の8つの指標

1. 分野の垣根を越えた協働による推進基盤
2. 取組みの方針（政策）がSCの文脈に基づき、自治体や教育委員会等の方向性と一致
3. 全ての年齢・性別・環境・状況を対象とする長期的、継続的なプログラム
4. ハイリスクの集団・環境に着目し、弱者グループを対象としたプログラム
5. 入手・活用可能な根拠に基づいたプログラム
6. 外傷の頻度と原因を記録するプログラム
7. プログラム・プロセス・効果測定・評価
8. 国内外のSCネットワークへの継続的な参加

3つのポイント

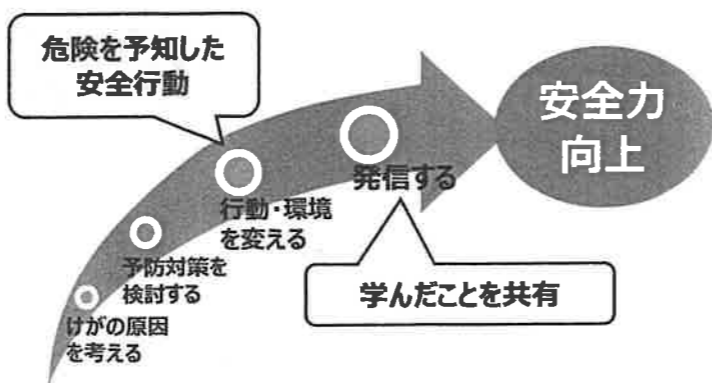
1. 分野横断的な協働体制



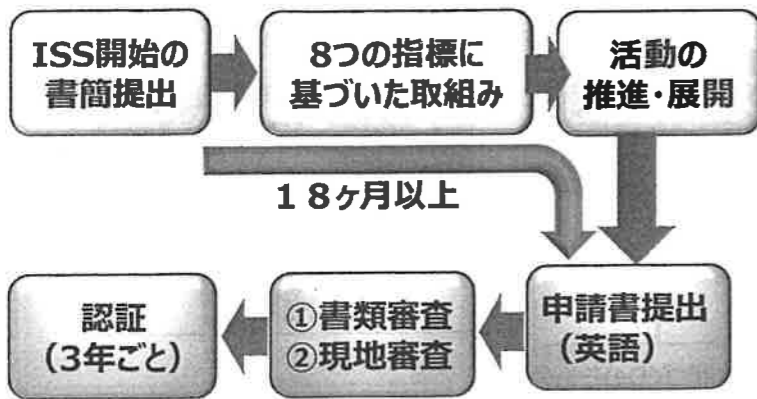
2. S+PDCAサイクルを構築（体系的な取組み）



3. 実践力（能力）を育てる



ISS認証までのプロセス



認証とは、最終ゴールではなく、安心・安全な学校に向けた一つの節目であり、引き続き、学校・地域・家庭・行政が協働でしっかりと取り組んでまいります。

松原市教育委員会事務局 学校教育部
教育推進課 TEL 072 (334) 1550 (代)

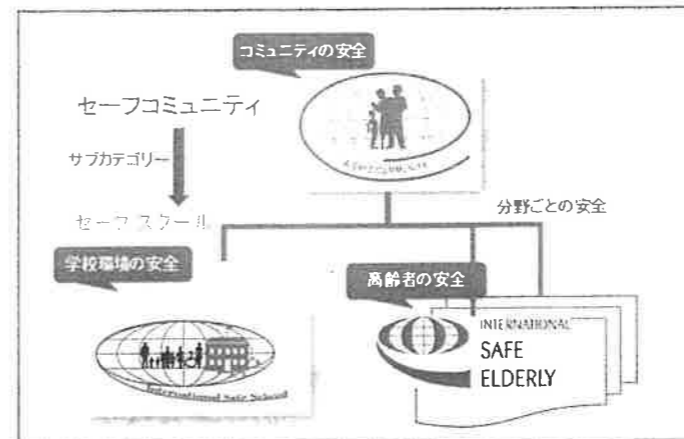
大阪初！セーフコミュニティ国際認証都市 まつばら「みんなでつくる 安心・安全なまちづくり」



インターナショナルセーフスクール (ISS)

インターナショナルセーフスクール (ISS) とは

インターナショナルセーフスクール (ISS) とは、(体および心の) ケガ及びその原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全で健やかな学校づくりを進める活動です。



一般社団法人 日本セーフコミュニティ推進機構HPより

セーフコミュニティ (SC) は、WHO(世界保健機関) が推奨する、安心・安全なまちづくりの国際認証制度です。

インターナショナルセーフスクール (ISS) は、その中でも学校環境の安全に特化した分野です。

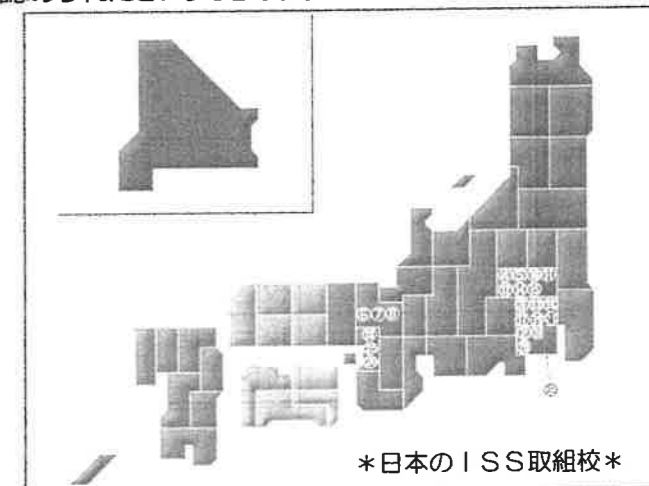
大阪初セーフコミュニティ国際認証取得
平成25(2013)年11月16日



松原市は、日本国内では8番目、世界で323番目の認証を取得しました。平成30年11月には再認証を取得しました。現在も、効果的・継続的な取組みを推進しています。

インターナショナルセーフスクール (ISS) 認証とは

インターナショナルセーフスクール (ISS) に認証されるということは、けがや事故のリスクがない100%安全な学校として認められるのではなく、安全な学校づくりのための仕組みが確立され、機能していることが認められたということです。



日本のISS取組校

一般社団法人 日本セーフコミュニティ推進機構HPより

日本では、現在53の学校園が国際認証を取得しており、うち48校が活動を続けています。

インターナショナルセーフスクール (ISS) 取組みの着手宣言



松原市内では、三中校区の3つの小中学校（松原第三中学校、布忍小学校、中央小学校）が、平成27(2015)年5月21日に取組みの着手宣言を行い、その後全校が着手宣言を行い取組みを進めています！
※詳細は次ページ

松原市内全小中学校におけるインターナショナルセーフスクールの取組み

ISS認証に向けたスケジュール

年	月 日	校区	内 容
平成27年 (2015年)	5月21日	三中校区	取組み着手の宣言式
平成29年 (2017年)	1月17・18日	三中校区	事前指導
	11月13・14日	三中校区	現地審査
	11月14日	四七中 校区	取組み着手の宣言式
平成30年 (2018年)	1月15日	三中校区	認証式
	7月13日	松六中 校区	取組み着手の宣言・
平成31年 (2019年)	1月28日・29日	四七中 校区	事前指導
	1月29日	二五中 校区	取組み着手の宣言式
令和元年 (2019年)	11月11日-13日	四七中 校区	現地審査
令和2年 (2020年)	1月14日・17日 ・23日	松三六中 校区	事前指導
	1月24日	四七中 校区	認証式
令和3年 (2021年)	1月28日・29日	二五中 校区	事前指導
	11月8日-12日	松三六中 校区	現地審査
令和4年 (2022年)	1月17日-21日	二五中 校区	現地審査
	1月28日	松三六二 五中校区	合同認証式

重点課題例

場所		重点課題
身体的側面 (体のケガ)	校内	休み時間のケガ
		体育の時間のケガ
		体育大会などの行事でのケガ
	校舎外	低学年のケガ
学校外	運動場・体育館でのケガ	
	通学路の交通量の増加	
心理的側面 (心のケガ)		ネットトラブルの増加
		いじめやいじめにつながる行為の発生

ISS校区子ども会議



校区毎に児童生徒が集い、話し合っています。
【目標の例】
①安心して学校に行けるよう、子ども同士のつながりをつくる。
②連携・協力して、いじめや差別のない学校づくりに取り組む。

松原市子ども議会



市内全小中学校の代表1名が出席し、市長への質問や各校の取組みを報告しています。



各校でのISSの取組み



ISSストリート
掲示などによって安心安全な取組みを啓発



児童朝会での報告



地域の方々や保護者による朝の見守り活動



オンライン授業や朝会



スマホの使い方講座



校内のケガをグラフや表で掲示

体のけがを予防するために



煙避難模擬体験
地域・市職員と共に訓練を実施



感染対策
フェイスシールド、マスク着用等

心のけがを予防するために

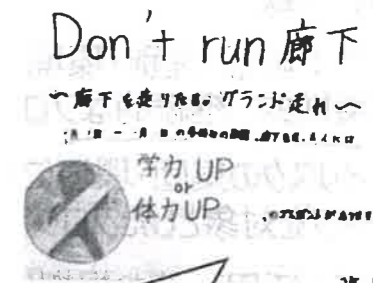
仲間づくりのための意見箱の設置



校区で協同作成した「信じあえる仲間づくり宣言」



校内安全マップ
校内でケガの起こった場所等を記録



各委員会等で啓発ポスターの作成



朝のあいさつ運動



感じ考え行動する人権学習



子ども同士のつながりを作る遊び大会



令和4年1月28日 ISS合同認証式の様子

